

ごあいさつ

核燃料サイクル開発機構は2005年10月1日に日本原子力研究所と統合し、独立行政法人日本原子力研究開発機構(略称 原子力機構)として新たな一歩を踏み出しました。

原子力機構は、国民の生活に不可欠なエネルギー源を原子力に求めるとともに、原子力による新しい科学技術や産業の創出を目指すべく、その基礎、応用研究から核燃料サイクルの確立という実用化を目指した研究開発などを実施する我が国唯一の総合的な研究開発機関です。

私たちは、安全確保の徹底と立地地域との共生を大前提として、高速増殖炉サイクル技術の実用化、放射性廃棄物の処理・処分の実現を中心とした核燃料サイクルの確立のための研究開発により、我が国のエネルギーの安定確保と地球環境問題の解決に向けて取り組んでおります。

本報告会では、北海道大学公共政策大学院院長・教授 宮脇 淳先生より、「行財政改革と地域づくり」と題して講演して戴くとともに、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究開発として幌延町で進めております幌延深地層研究計画の現状について報告させて戴き、ご来場の皆様にご理解を深めて戴ければ幸いです。是非、この機会にご参加を戴きたく、ご案内を申し上げます。

会場のご案内



■地下鉄西11丁目駅より徒歩3分 ■地下鉄大通駅より徒歩5分

幌延深地層研究計画 札幌報告会2005

【日時】平成17年11月29日(火) 14:00~16:30

【会場】札幌後楽園ホテル B2F・ピアリッジホール
(札幌市中央区大通西8丁目)

主催 独立行政法人日本原子力研究開発機構 幌延深地層研究センター

後援 北海道経済産業局

協賛 北海道経済連合会、北海道商工会議所連合会、北海道経産者協会、北海道経済同友会、北海道商工会連合会、北海道中小企業団体中央会、北海道観光連盟、北海道建設業協会、北海道エネルギー基本問題懇談会、北海道エネルギー対策協議会、北海道エナジー・ネットワーク21、NPO法人フロンティアテクノセンター